

工芸会

聴覚・言語障害者の皆様が
はたらき、生活する施設



Work Center

たより

Vol.61



新年度を迎えるにあたり

理事長 西 憲一郎



平成二十七年は我が国の戦後七十年にあたるということで様々な角度から戦後日本の歩みが論じられています。この中で障害者福祉制度についてもノーマライゼーションの理念の普及などにより相当充実してきた

ことが挙げられています。

しかし私どものろうあ福祉会の起源は、このような福祉制度もほとんどなかった百年以上も前の明治四十二年に、先達の尊い善意と奉仕精神に支えられ、福岡県盲啞教育慈善会に始まりました。そして戦前戦後の、経営上の大変な苦勞を乗り越え、歴代の役員員のたゆまぬ努力と熱意並びに地域と関係機関のご支援により、今日の西日本有数の聴覚障害者専門福祉施設として発展してきました。

私どもはこれらの先達と関係の皆様への期待にそうべく、ろうあ福祉会の事業の維持発展に努めなければなりません。このことは現在の施設利用者のみならず、九州・西日本の聴覚障害者と保護者の希望に大きく応えることとなります。そのためには役員一人一人が改めて障害者施設の運営目的を認識し、それぞれの職務内容と施設運営の改善に努めていく必要があります。

今年から勤務評定を実施することとしましたが、その適正な実施を図るとともに職員の方皆さんもこれを活用し、施設運営等について提言していただきたいと思ひます。

利用者の皆さんもこの一年、生産活動に精を出し、レクリエーションや社会見学旅行など楽しんで皆仲良く元気に暮らしていくことを願っております。

クラブ紹介



散歩



ぬりえ



料理



習字



絵画



オセコ



編み物



生花



将棋

平成二十六年 度

苦情解決第三者委員会

施設長補佐 小原 勲

二月九日(月)中村・笠苦情解決第三者委員をはじめ、法人三役、両施設苦情解決責任者・苦情受付担当者出席のもと、平成二十六年 度苦情解決第三者委員会が開催されました。

はじめに、福祉サービスに関する苦情解決規則、苦情・要望を申し出る流れについて説明が行われ、次に工芸会ワークセンターにおける、平成二十六年 度の苦情・要望の内容と解決にいたるまでの経過について説明をさせていただきました。

今年度、本施設においては、特に大きな問題となる苦情・要望等はありませんでしたが、約九年前に退所した利用者が本施設に突然来会され、預かり金の管理について苦情を述べられた件について説明をさせていただきました。この件については、保護者立会いのもと適正に処理されていることから、第三者委員の皆様からは、「問題が起こり、その時に説明して本人が納得しても、本人の思い込みがあり、問題をぶり返すことがあるのではないか。」と言った、助言を頂きました。

工芸会ワークセンターでは、苦情受付ボックスによる苦情受付の他に、施設長との懇談の日や作業場の懇談の日、自治会等、利用者の皆様の苦情や要望を申し出る機会を多く設けており、希望や要望の段階で早期に対応し、苦情に発展しないよう日頃より努めています。今後も利用者の皆様が安心して生活できるよう、更なる福祉サービスの向上に努めてまいります。



給食係より食事提供に気をつけていること

私達が、この時期気をつけている事は、温かい物をいかに温かく提供するかということです。

特に麺類の提供については、利用者の方を、少しお待たせしますが、利用者の方の顔をみながら、ゆで麺器を利用し茹でたての食事を提供しています。

お店に食べに行ったようにアツアツを食べていただいています。利用者の方からは『温かくておいしかった』と、とても好評です。

寒い時には、温かい物が何よりもごちそうです。これからも、利用者の方から、『おいしかった』とお声をいただけるように、また、たくさん笑顔が見られるように頑張っていきたいと思えます。

給食係長 竹下 奈美



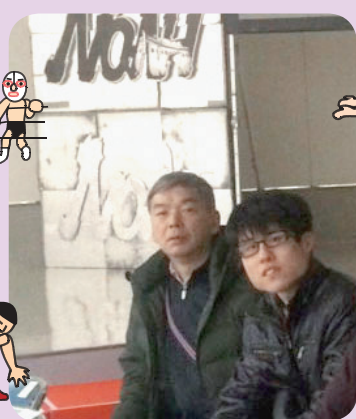
プロレスリング

ノア観戦

平成二十七年二月十八日

福岡市社会福祉協議会を介し、プロレス観戦のご招待を頂きました。会場は、一月と寒い季節ではありましたが、お客さんで満席となり活気と熱気のあるプロレス観戦でした。利用者の方には初めて観戦される方もいて、ヒール役の選手の演出に怯えながらも、普段では見られないような大きなリアクションで楽しませて頂きました。利用者の方との楽しい時間を過ごさせて頂き、ご招待に感謝いたします。

なごみ係 宮原 七穂



社会見学旅行 大分グループ



九月二十五、二十六日に、高級感あふれる湯布院の森号に乗車し大分旅行に行ってきた。大分では、その土地にしか無い文化や風習にふれ日々の疲れを癒す事が出来ました。夜の宴会では、利用者職員一同に集い、美味しい食事に舌鼓。ゲームやダンスを行い楽しいひとときが過ぎ世親睦を深めることが出来ました。二日目、安心院ワイン工場に行き、ソフトクリームコーナーに、利用者・職員の長蛇の列が出来ていたのが印象的でした。一年に一度の大イベント。皆さん旅行を満喫された様子でした。

なごみ係長 成清 京子



十月二十三日から一泊旅行として、新幹線で大阪へ社会見学旅行に行きました。一日目は、みなさんが一番楽しみにされていたユニバーサルスタジオへと向かいました。テレビなどで見た事がある映画のアトラクションがたくさんあり、入るまでに長い時間並ぶ事もありましたが、みなさん本当に満足されているようでした。二日目は、チキンラーメンミュージアムに行き一人一人オリジナルのカップラーメンを作りました。自分が作ったラーメンおいしかったですね。

軽作業係長 谷口 洋也

社会見学旅行 大阪グループ

田尻苑・工芸会合同 レクリエーション

今年も「パン食い競争」や空き缶を積み上げる「福祉会ツリー」などさまざまな競技を紅白に分かれて行いました。恒例の玉入れは超接戦！三回では勝負がつかず、四回目に二個差で白組が勝利！

どの競技も皆さん楽しそうに参加されました。怪我やアクシデントもなく心地よい疲れを感じ、いい運動になりましたね。西理事長にもご参加頂き、無事に終われたことがなによりでした。お疲れ様でした。

(今年の優勝は「白組」でした。)
生活介護課長 末吉 智美



ワークセンターまつり

今年のまつりは十一月十六日(日)、に行ないました。

天気も良く、多くの方にご来場いただき、準備していた飲食物は完売でした協力いただいた、他の施設・他団体の商品も売れ行きはよかったです。工芸会の商品も多く買っていたきました。

また、ステージイベントもバンド演奏やアイドルグループの公演、子ども達のダンスパフォーマンス等で盛り上がりました。昨年からご協力いただいている、パトカー・白バイの展示・試乗も子どもたちだけではなく、大人にも人気がありました。来年以降も是非お願いしたいと思います。

ご協力いただき

いたみなさま、ご来場いただき、たまなさま、ありがとうございました。

木工係長 星野 俊幸



ご協力ありがとうございました

ご芳志、寄贈品、ボランティア活動で協力頂いた方々です。

順不同、敬称略



オリエント産業(株)
ベスト電器 NEW 伊都店
サンビニール
タカハシミート
西宣
福岡トヨペット(株)前原店
西鉄旅行(株)福岡支店
ハタエ石油(株)
進藤鮮魚店

(有)モチダ産業
(株)九電工 糸島営業所
(株)かねやす 元岡店
(株)ワイエス
コカ・コーラウェスト(株)福岡テリトリー
トヨタL&F 福岡(株)福岡営業所
(有)カノオ醤油味噌醸造元
アガベ横浜薬局
(株)栞事務機
(株)西日本シティ銀行今宿支店

山口建築
三菱電機ビルテクノサービス(株)
那の津寿建築研究所
大分製紙(株)
JA福岡市今宿支店
(株)福岡フードサプライ
(株)福岡銀行今宿支店
筑紫フードサービス(株)
中川製麺所
(株)アクタ
(株)アメニティ
(株)DNPロジスティクス
(有)国友商店
嶋商店
鉄建建設(株)
はかた珈琲工房
福岡豊栄会病院
(有)樽味屋
中村水産

(株)肉の山本
(株)設備保守センター
本多綜合印刷(株)
(株)オゴウ・コントラクト
玉屋リネンサービス(株)
西部ガスエネルギー(株)
(有)ケイズエンタープライズ東事務所
(株)春田勲志商店
にしおか歯科医院
なのみ学園
第一野の花学園
福岡コロニー
福岡鴻臚館ライオンズクラブ
第12地区民児協
福岡県立玄洋高等学校
福岡舞鶴高等学校
周船寺第二幼稚園
渡辺晟信
田村和子
河野宏康
中村伊代太
松本紘巳
河千田セツ子
上原美津子
林公仁

打越登
永島次男
篠原勝子
本田隆一
西村常作
本田坦
脇野功
宮田好泰
窪田孝己
平田幸男
荒駒チヅノ
原正
執行正弘
春日八重子
栗田辰彦
田中憲治
柴住一海
萬治豊
小野立生
仁位清隆
中島政憲
山部洋一
川上千彰

障がい者週間 バイキング昼食会



障がい者週間の行事として十二月三日(水)バイキング昼食会を行いました。日頃から厨房の職員がおいしい給食を作ってくれていますが、この日は特別メニューという事もあり、利用者の皆さんはとても楽しみにしてありました。体育館でいつもとは違う雰囲気の中、みそおでん・ハンバーグなどのおいしい料理をいただきました。中にはおかわりをされる方もいて、最初から最後まで笑顔の絶えないバイキング昼食会になりました。

軽作業係 西崎 博子

自治会主催 クリスマス会

工芸会には毎月の誕生会をはじめいろいろな行事があります。その中でもクリスマス会は自治会主催ということもあり、毎年みなさんとても楽しみにしています。私は自治会メンバーとして、今年も司会を担当しました。とてもドキドキしましたが無事に終わることが出来ました。

楽しいゲームや出し物、おいしい食事とサンタさんからはプレゼントももらい、みなさんとても楽しまれていました。

来年もサンタさんにプレゼントがもらえるようにみんなで仲良く生活しましょう。

利用者 内藤 輝生



餅つき



十二月二十五日の午後、中庭で全員そろって行いました。今年も天候にも恵まれ、つくスピードもアップし、一時間足らずで四十五キロの餅米をつき終わりました。

皆交代しながら餅つきや餅まるめを楽しみ、小さきまぎな、いろいろな形の小餅約千八百個が出来ました。最後には来年も良い年になりますように願いながら、だいこんおろし、ぜんざいで、つきたての餅をおいしくいただきました。

木工係 長田 盛隆



新年会

平成二十七年一月五日、新年会が行われました。

新年会では表彰が行われ、努力賞・感謝状・喜寿などのお祝いの受賞があり、みなさん誇らしげな表情で受賞されてありました。

そしておいしい料理を食べ、ゲームを行いました。大変盛り上がり、みなさんのたくさん笑顔を見る事が出来ました。

施設長からの挨拶でもあった様に、羊は穏やかで仲良くケンカをしないとこの事です。羊の様に、みなさんが仲良く穏やかに過ごせる様、今年も努力していきたいと思っています。

縫製係 原田 博美





軽作業係



木工係



作業場紹介



縫製係



なごみ係



ありがとうございます

施設長 竹田 豊

平成二十二年六月一日、工芸会ワークセンターの施設長としての第一歩が始まりました。当日は、聴覚障害の方たちに対する支援業務への期待感と、手話ができない不安感が入り混じり不思議な気持ちでした。しかし、当日から利用者の皆さんは「名前は何ですか」、「家はどこですか」とか親しく手話で話しかけてくれました。正直ちんぷんかんぷんでしたが、職員の手話通訳で意思疎通ができました。

それから五年間、手話はなかなか上達していませんが、心が通えば何とか通じるもので、利用者の皆さんとはジェスチャーを交え親しく会話し、楽しく過ごすことができました。利用者の皆さんは、たまには喧嘩されることもあります。利用者の兄弟喧嘩みたいなもので、実際は皆さん心優しく素直な人ばかりです。私も、利用者の皆さんと接することで、人に対して少し優しくなれたような気がします。

近年、障害者制度は大きく変わってきており、今後、さらに変化していくと考えられますが、利用者の皆さんが、これからも健康で、安全で、安心して生活できることと信じています。それは、工芸会ワークセンターには経験豊富で優秀な職員が大勢いるからです。長いようで、短かった工芸会ワークセンターの施設長の職は、五月末で定年となります。そこで最後に、お世話になった利用者の皆さん、三役の方々そして私の洒落たジョークに心良く応じていただいた職員の皆さん、一言敬意と感謝を込めて申し上げます。

「ありがとうございました。」



木下大サーカス鑑賞



平成二十七年一月二十日、木下大サーカス鑑賞のご招待を頂き、利用者・職員合せて三十名にてサーカスを鑑賞しました。

世界三大サーカスの一つである木下大サーカスの公演は圧巻で、動物たちのショーや猛獣ショー、空中ブランコなど、利用者の皆さんもとても楽しそうに鑑賞されていました。特に、世界でも珍しいホワイトライオンのショーを皆さん興味津々に見ている姿が印象的でした。サーカス鑑賞のご招待、本当にありがとうございました！

縫製係 村崎 悠助

利用者入退所状況

退所

平成二十七年一月三十一日付

納身 正英さん

入所

平成二十七年二月四日付

草野 好美さん

職員退職

平成二十七年三月三十一日付

生活支援員 小嶋 研治

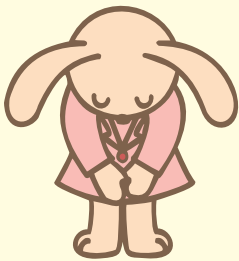
生活支援員 福澤 義孝

お知らせ

平成二十五年八月に解散されました、保護者会より残余金のご寄付頂きました。

この浄財は、利用者で組織している自治会で活用させて頂きます。

ありがとうございました。



表彰・感謝状 受賞者紹介

福岡市長表彰

木工係

長田 盛隆

福岡市

社会福祉協議会会長表彰

医療保健係

井手恵美子

福岡市長感謝状

木工係長

星野 俊幸

編集後記

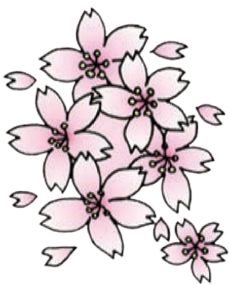
この六十一号の作成に取り掛かり四ヶ月が立ちました。

企画に取り掛かった頃は、寒くなり始めだったような気がします。今では暖かくなり、新しい季節が足音させながら近づいて来ています。

みなさんも感じてますか？

「春の足音」

サービスマネジメント係 稲吉 哲



交通アクセス



工芸会ワークセンターたより Vol.61

発行

〒819-0383

福岡市西区田尻2542

社会福祉法人 福岡ろうあ福祉会
障害者支援施設

工芸会ワークセンター

TEL 092-806-7774

FAX 092-806-8962

E-mail kougeikai@kougeikai.or.jp

URL http://www.kougeikai.or.jp